

百年後を見すえてここで今を生きる 『みんなで作る中国山地』紹介



安溪遊地 + 安溪貴子 + 安溪大慧 (阿東つばめ農園)



これから100年何がおこるか？

- そんなことは、さっぱりわからん。
- けど、いま ここで できることは？

わかっていること（例）

今日棄権すると、10年後の権利を失う。
戦争が起きたら、日本はまっさきに飢える。
放射性廃棄物を受け入れると、10万年後
までの安全を失う。



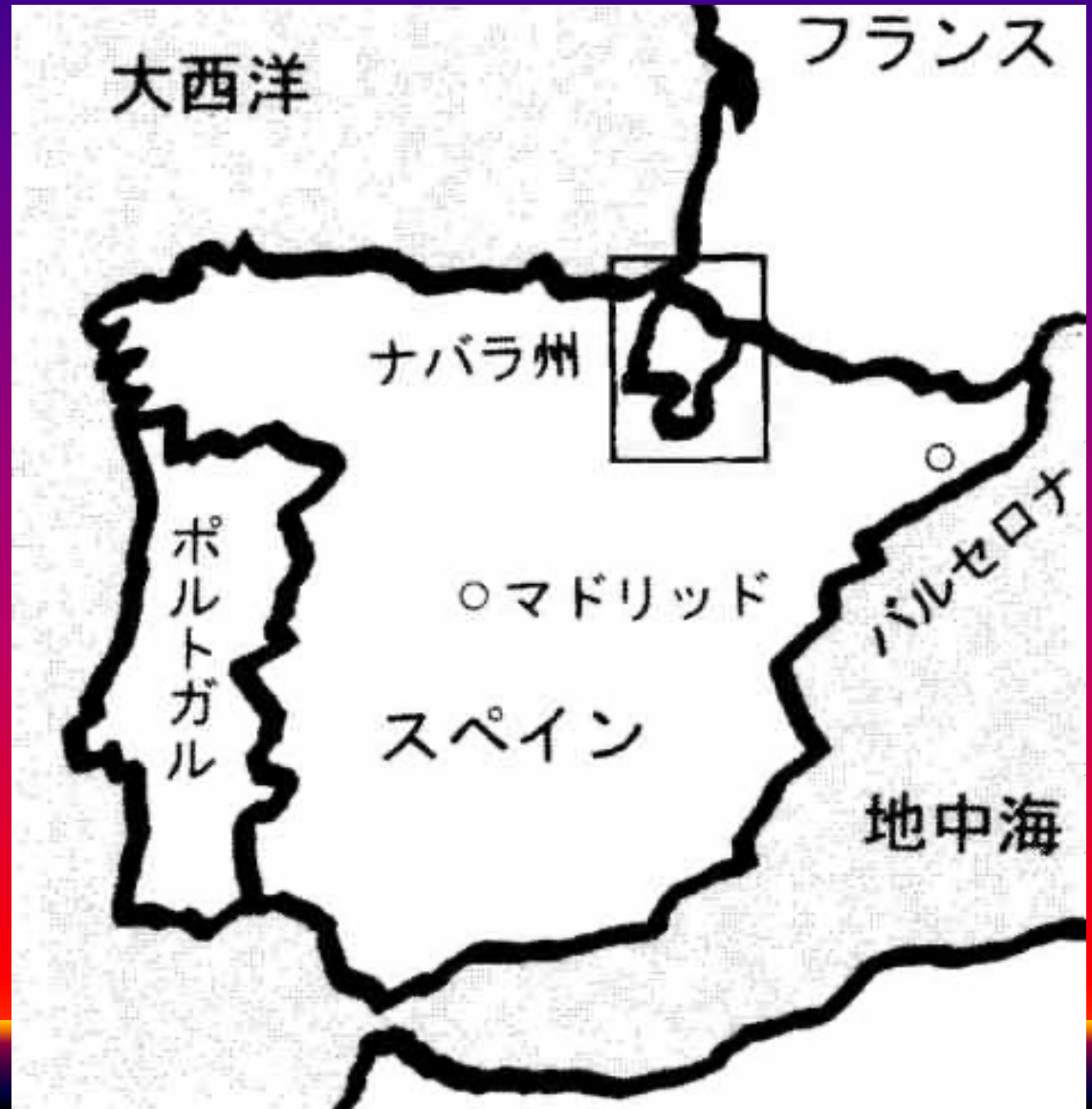
過疎で大変？ 何いうてんねん。
だーれも飢え死にしてへんやんか！



四国学院大G・ムアング教授
(ケニア人) 安溪のスワヒリ語
の先生)の周防大島での「ムンバ

現状をどう見るか——世界の中で

- スペイン北部・ナバラ自治州の事例から（2005年、5か月滞在）



フランシスコ・サビエル生誕の地

一九八〇年から山口市と姉妹提携



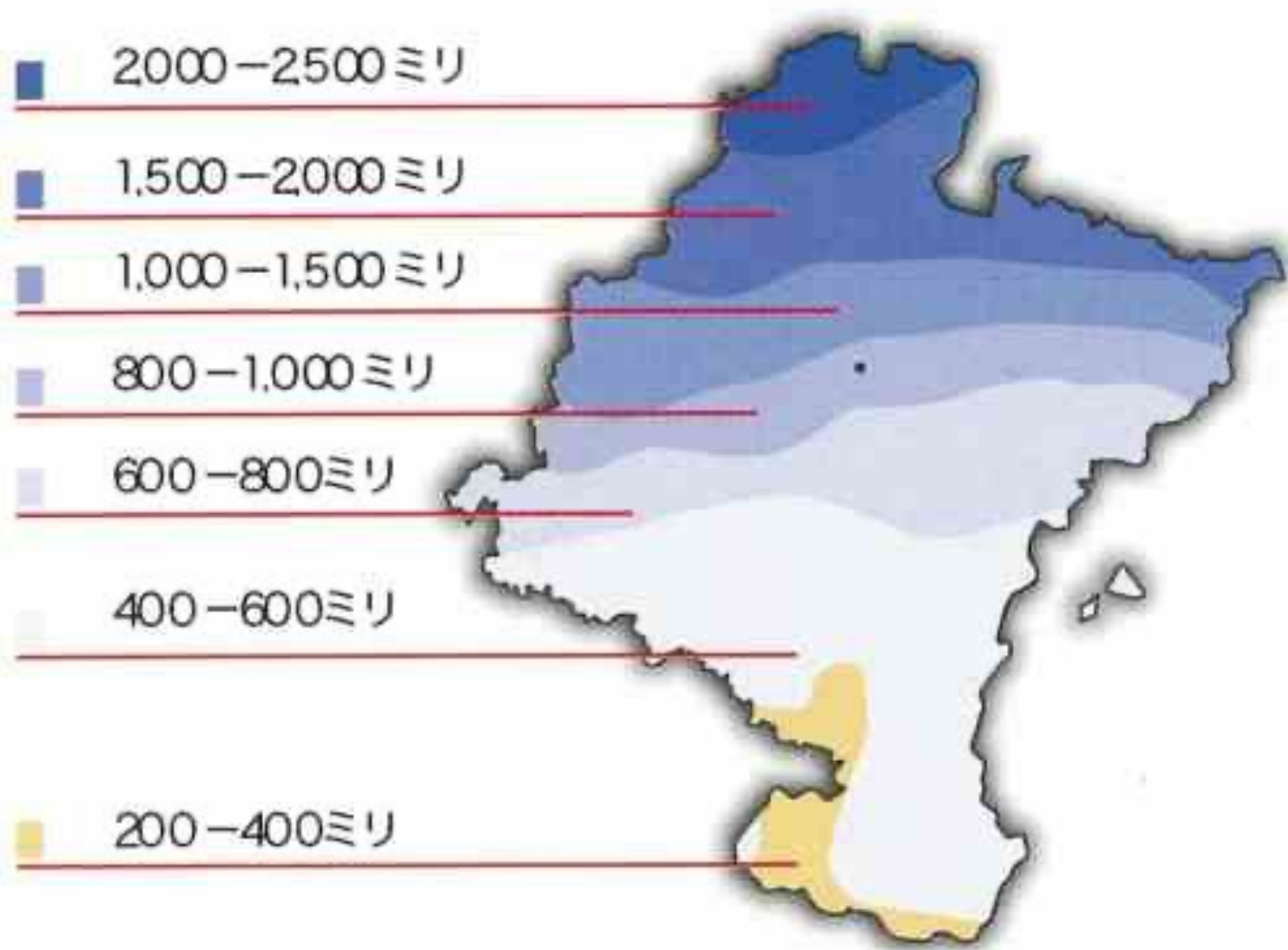
多様性の 自治州 ナバラ

(斜線は現在の
バスク語圏)

面積は
山口県の
1.5倍、人口
は50万人
(1/3)



森の多い北部、砂漠の南部



州都、パンプローナの姉妹都市



パンプローナは 歴史の町

旧市街区にある
市庁舎と広場



山の中の一軒家（電線は来ている）

日本の過疎と桁が違う



ローマ時代からの村々が残るナバラの歴史と自然の魅力 坂道で足腰強くなる！



村ごとと地区ごとのバルで毎夕安否確認



田舎町エリツォンドと川辺の風光



町から10キロの農家民宿

隣の家は、4キロ先(道は自分で補修)



ミウラさんの経営する農家民宿 ヨーロッパ中から客が来る



州政府の
「Q印の宿ガイドブック」
に載せられた
ミウラ民
宿の
暖炉の間



廊下はまるで小さな博物館



朝ごはん・家族のように食卓を囲む



きれいな好きなブタさん



農家別荘経営とチーズづくりの農家



廃村を復活させた健康住宅は薪暖房



薪が自慢の山口市仁保の家で 宇宙飛行士の秋山豊寛さん



百年後をどう見るか——歴史の中で

沖縄八重山・西表島（いりおもてじま）の歩み

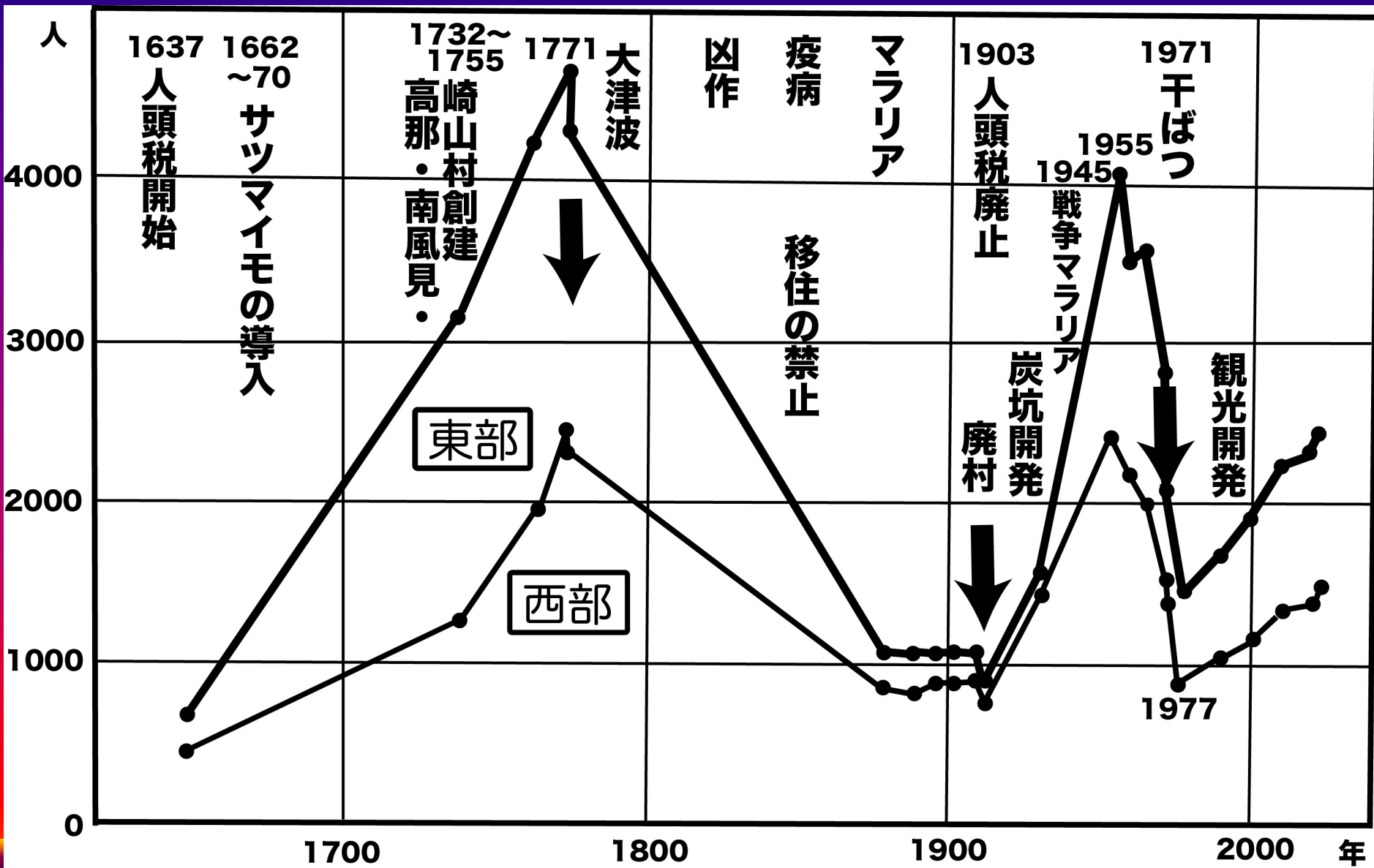


一九七七年 田植え特訓中の安溪遊地

レポートなどは地元の人にチェック
してもらえば安心



3回におよぶ人口激減の危機



西表島の文化力

金星人から地球人へのメッセージ

「文化力のある島は滅びない」
石垣金星さんの遺稿集



西表をほりおこす会 編

- 第一部 自然と文化を守る
- 第二部 西表をほり・おこす
- 第三部 地球人へのメッセージ

著者：石垣金星

企画：石垣昭子（紅霧工房）

編集：西表をほりおこす会

出版社：南山舎

判型と定価：B5 サイズ 176 ページ / 1500 円 + 税

己亥大地古歴史泉有

石垣金星

西表を
ほりおこす会

として応援し
て出版

金星人のことば



『映画・生流転』より

- 人間もこの自然の中で生きている生き物のただひとつにしかすぎない。ということをして西表に来たら、いやがおうでも感じないといけない。これは、昔もいまもこれからも、絶対変わらんし、変えちゃいかんこと。祖納（そない）の場合は、五百年前の歴史がわかっている。だから五百年先が見えるわけよ。だから、心配はしとらん。



百年後を見すえてここで今を生きる みんなで作る中国山地百年会議



2020年2月島根県邑南町に大集合

過疎のはじまりの中国山地から



中国山地の字力でつくる

※会員の持つ情報を集め記録したい！

中長期のテーマを一緒に考える公開編集会議や、記事内容を深く学ぶ読書会、絵図のネタ探しの機会を増やし、これらの活動も年刊誌に記録していきます。

中国山地の磁力をつなげる

※リアルに集まる機会を増やしたい！

月2回の市のうち半分程度をリアル開催に。ご近所会員同士のつながる化&この際だから行ってみよう！会ってみたい！のきっかけをどんどん作ります。

中国山地の地力をとどける

※新しい読者と仲間を増やしたい！

新たな関わりをつむぎながら、読者層を拡げます。コラボイベント・各人の活動を紹介できるパートナー制度・インターン制度の拡充等を検討します。

しょっちゅう顔あわせ



世話人の森田一平さん4号を手渡す

- 24節季にあわせて、市を開催。会員のZoom会合、毎回8人から20人くらい参加。人数が多ければ、小部屋にわかれて話して、あとで持ち寄る。



若手を育てて記者にする

ローカル・ジャーナリスト田中輝美さん
(島根県立大学准教授) (c) 足利経済新聞



大学生が発刊祭りを各地で主催 山口県は阿東文庫に集合



くるものこぼまず みんなおいで 島根県立大1年生Wさんのfacebook



屋久島のおばあちゃんの祈りから

◎診療所の祈り

診療所へ行くときも、「欲ではあります、けがのないように、無事帰らせて下さい」とお願いをして、何事もなく帰れたらまた、お礼をいいます。

病気した時でも、医者ばかりにかからずに、神仏と医者と両方から攻めなさいよ、と母に言われました。そうすれば治りも早いのに、今の若い衆は、笑いごとのようにしか聞きませんね。五〇、六〇歳くらいの方は、「迷信を言うな」というのよねえ。





お世話になりました

- ナバラ州立大学
- 西表島のみなさん
- 阿東文庫のみなさん
- みんなでつくる中国山地
百年会議のみなさん

